

第2学年東組 国語科（少人数）学習指導案

学習指導者 真鍋 佳樹・金崎 知子

単元 「話して、書こう『たからもの』」

1 本単元のねらい

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
聞き手を意識して、「宝物」を紹介するクイズやスピーチづくりをし、友達に質問したり、質問に答えたりしようとする。	伝えなければならないことは何かを考えて、「宝物」を紹介する時に、どんなことをどの順序で話すとよいかについて考えて話すことができる。	クイズやスピーチにおいて姿勢や口形などに注意して、丁寧な言葉づかいで話すことができる。

2 単元について

(1)教材開発について

「宝物」を紹介することは、2年生の子どもたちにとって、話したい、聞いてもらいたいという思いをかき立てる教材となる。子どもたちには、一人一人自分の大切にしている「物」があるが、その「物」には、宝物となる所以が存在する。例えば、長い時間を費やして一生懸命に作り上げた物であるとか、その物に、家族との思い出が詰まっているとかである。

低学年期の子どもは、何かを紹介しようとする時、抽象的な視点からのみ紹介をしたり、紹介の目的を忘れてしまったりということに陥りやすい。例えば、「宝物」の紹介においては、「ぼくの宝物は、この石です。とても綺麗なので気に入っています。」というように、「綺麗」といった言葉で、自分の思いを伝えようとするのである。ここには、「石」を「色や形や模様等」の具体的な視点から見て伝えようとする述べ方が見られない。また、多面的にかつ具体的に伝えたとしても、「物」の紹介に終始してしまい、「宝物」の紹介という目的において最も重要な「それが宝物となり得た理由や背景」について述べられないといったことである。

そこで、「宝物クイズ」や「宝物にまつわる絵や写真を使ったスピーチ」という言語活動を設定したい。「宝物クイズ」については、クイズのヒントを作るという活動において、「物」を具体的で多面的な視点から捉えて述べる力を育てることができると思う。また、「宝物にまつわる絵や写真を使ったスピーチ」においては、「物」以外の複数の映像を提示しながら話すことによって「宝物となり得た理由や背景」について詳しく述べる力を育成できると考える。

(2)教材の組織について

本単元では、習熟度別の少人数指導を導入する。「クイズコース」は、「具体的な視点から多面的に『物』紹介をすること」を、クイズのヒントづくりを基に考えていく。また、クイズのヒントだけではなかなか迫ることが難しい「宝物となり得た理由や背景」を述べることの大切さに気付かせる。そして、このことを、クイズのヒントとして取り入れたり、クイズの前後に説明を入れたりする方法を工夫していくといった「基礎・基本」の定着をめざしていく。「宝物にまつわる絵や写真を使ったスピーチコース」は、「クイズコース」のねらいとする視点を持ち得た子どもたちで構成するコースである。ここでは、「宝物」にまつわる人物や自分とのかかわりの視点から、詳しく説明していき「話のまとめや中心に気を付けて話す力」という発展的な力の育成をめざしていく。

また、「話すこと」が、「尋ねたことに答える」ことで広がりや深まりが期待でき、「話した内容」を「書く活動」に取り入れていくという低学年期の子どもたちの実態がある。そこで、各コースとも、質問し合う活動を重視するとともに、「紹介文」を書く活動は、音声言語の活動に追従する形で組み入れていく。

3 単元計画（総時数 13時間）

<p>「宝物」の紹介計画を立てよう（2時間）</p> <p>「宝物」の紹介をするときに、何について述べたらよいかについて話し合い、紹介原稿を書く。</p> <p>どんな物なのかをくわしく話したらいいよ。 宝物を持ってきたり、写真を見せたりしたらいいね。 なぜ宝物なのかというわけを話そう。</p> <p>物の様子、用途、物と自分とのかかわり、物と人とのつながり等の視点から、紹介原稿を書く。</p>	<p>展開の工夫</p> <p>教師が宝物を紹介するクイズやスピーチをして、自分の宝物や宝物に対する思いを分かりやすく伝えたいという意欲を喚起する。</p>
<p>「宝物」を紹介しよう パート1（7時間）</p> <p>各コースに分かれて活動の計画を立てる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="164 649 598 1433" style="width: 45%;"> <p>〔クイズコース〕</p> <p>紹介原稿を基に、クイズのヒントをつくる。</p> <p>色と形と使い方で3つのヒントができたぞ。</p> <p>「クイズ大会」をして宝物の紹介の仕方を考える。</p> <p>【本時 4/7】</p> <p>宝物のいろいろなことをヒントにしたら、おもしろいクイズになるなあ。</p> <p>宝物じゃなくても、クイズになってしまうなあ。</p> <p>宝物になったわけを話さないといけないよ。</p> <p>物を具体的な複数の視点から捉え、その順序を考えて紹介したり、話す目的に応じた内容を組み込んで話したりする。</p> <p>「クイズ大会」を通して学んだことを基に、紹介原稿を書き加える。</p> </div> <div data-bbox="598 649 1053 1433" style="width: 45%;"> <p>〔スピーチコース〕</p> <p>紹介原稿を基に、スピーチに使う写真や絵を選ぶ。</p> <p>プレゼントしてくれたおばあちゃんの写真にしよう。</p> <p>発展的な学習</p> <p>「スピーチ大会」をして宝物の紹介の仕方を考える。</p> <p>【本時 4/7】</p> <p>話す前に、写真で言いたいこと友達に当ててもらおうようにしたら楽しいなあ。</p> <p>写真の説明をしていたら、宝物になったわけが詳しく話せたよ。写真ごとにまとめておこう。</p> <p>物とそれに関係する人や出来事の視点等からまとまりをつくって、中心に気を付けながら詳しく話す。</p> <p>「スピーチ大会」を通して学んだことを基に、紹介原稿を書き加える。</p> </div> </div>	<p>第1次で書いた紹介原稿を基に、習熟度に応じた2つのコースを設定し、基礎・基本の徹底や発展的な力の育成に応じた学習活動が展開できるようにする。</p> <p>「スピーチ」に関しては、宝物になった理由や背景を「まとまりをつくって詳しく述べる」という力を育成する発展的な学習を組織する。</p> <p>質問されたことに答えた内容を記録（ビデオ・テープレコーダー等）に残し、書く活動の際に内容を加えて書くことが容易にできるようにする。</p>
<p>「宝物」を紹介しよう パート2（4時間）</p> <p>2つのグループに分かれ、「クイズ大会」や「スピーチ大会」をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="164 1713 598 2042" style="width: 45%;"> <p>〔真鍋先生コース〕</p> <p>「スピーチコース」の人へクイズを出すよ。なぜ宝物なのかのわけをクイズの後に話そう。</p> <p>宝物になったわけを、「スピーチコース」の人のように詳しく話したいなあ。</p> </div> <div data-bbox="598 1713 1053 2042" style="width: 45%;"> <p>〔金崎先生コース〕</p> <p>「クイズコース」の人にスピーチするよ。一つ一つの写真について、まとまりをつくって話すよ。写真の順番も考えて、分かりやすいスピーチにしよう。クイズも入れてみたいなあ。</p> </div> </div>	<p>それぞれのコースで学んだ思考様式の習熟を図ったり、互いのコースでの学びを紹介し合ったりするため、相手を変えてのクイズやスピーチの活動を行えるようにする。その際、一人一人の活動時間を保障できるように、相互作用型の少人数指導を設定する。</p>

4 本時(1日目)の学習指導

【研究授業】

〔スピーチ コース〕

(1) 目標

「宝物にまつわる絵や写真を使ったスピーチ」を通して、宝物となり得た理由や背景について、話のまとめをつくり、その中心に気を付けて話したり、質問されたことに答えたりすることができる。

(2) 学習指導過程

学 習 活 動	子 ども の 意 識
<p>1 モデル児によるスピーチと教師によるモデルスピーチとを聞き比べ、よさや問題点について話し合う。</p> <p>(1) 3枚の写真を比べて、スピーチ内容を予想する。</p>	<p>真鍋先生のスピーチは、宝物の「物」ばかりについて話そうとしているんじゃないかな。さんは、なぜ宝物なのかについて話してくれると思うよ。</p> <p>宝物になったわけをしっかりと話してほしいなあ。</p>
<p>絵や写真を使って、宝物になったわけをスピーチしよう。</p>	
<p>(2) スピーチ内容を比べる。</p>	<p>さんが大切にしている物は、大好きなおばあさんがプレゼントしてくれて、さんが何日もかかって作ったから「宝物」になったんだね。</p> <p>真鍋先生は、簡単にしか言わなかったから、もっと詳しく話してください。</p> <p>きっと、～なことではないですか。</p>
<p>(3) スピーチで大切にしたいことをカードにまとめる。</p>	<p>写真や絵を使って、どんな思い出があるのかを詳しく話したらいいよ。</p> <p>話す順番も大事だね。まずは、物について話したほうが分かりやすいよ。</p> <p>絵や写真を見ただけで、きっとこんなことだろうと分かるよ。聞いている人は、クイズみたいにそのことを先に話して、それからスピーチをしたらおもしろそう。</p> <p>予想を話してくれたことについて、それと同じなのか、少し違うのかを先に話して、詳しくスピーチすればいいよ。</p> <p>一つの写真や絵のスピーチが終わるまでは、次のことについて話さない方がいいよ。ごちゃごちゃになっちゃうからね。</p>
<p>2 グループをつかってスピーチをし合い、スピーチ原稿に、質問されて話したことをカードに書き加える。</p>	<p>さんが聞いてくれたので、私の宝物のぬいぐるみを抱いたら、いやなことや悲しいことがすぐなくなることを話せたよ。</p> <p>一つの写真についてもたくさん話したので、何を話したか忘れちゃったよ。そうだ、テープレコーダーを聞いてみよう。</p> <p>たくさん話したので、次に話すときのために、言ったことを整理しなくちゃいけないよ。</p>
<p>3 書き加えたカードを並び替えて、スピーチ原稿を整理する。</p>	<p>まずは、宝物、次はもらった人、最後は自分がどのように使っているかで話していこう。</p> <p>おばあさんとはなかなか会えないことを言ってから、もらった時の気持ちを話そう。</p> <p>長い間お父さんにお願ひしたことを話して、買ってもらったときのうれしい気持ちを話そう。</p>

< 前時までの子どもの学びの様相 >

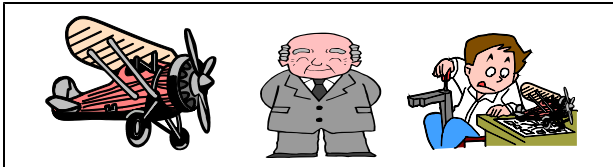
これまでに、子どもたちは、「宝物紹介」において述べるべき視点についての学習をしている。本コースの子どもたちは、紹介原稿の中に「宝物となった理由や背景」についても書くことができている子どもたちである。そして、内容ごとに、スピーチに使う写真や絵を用意してきている。

支 援

- ・ 本時の課題を焦点化するために、モデル児の用意した写真や絵（宝物となった理由や背景を表す）と教師の用意した写真（全てが物の映像）とを黒板上に並べて提示し、これから、宝物となった理由や背景について詳しくスピーチしていくという課題意識を明確にもたせたい。

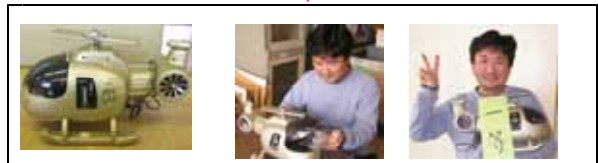
【モデル児の提示する写真や絵（例）】

【教師の提示する写真】



支援

モデル児がスピーチ（一つ一つの内容について詳しく説明）を行った後、新たな2枚の写真を提示し、「宝くじで当てました。」「これで音楽を聞いています。」といったような、写真と話す内容の順序が逆になった簡単な説明のみを話し、教師の話し方の問題点が、モデル児との対比の中で明らかになるようにする。その過程で、以下のような述べ方のよさ（思考様式）に気付くようにする。



「さんは、写真と話したことが合っていたけど、真鍋先生は、写真と話したことが逆だったよ。」
 といった発言 **映像と話す内容の整合**、**映像を提示する順序（話す内容の順序）**

「真鍋先生は、くじ引きで一等が当たってとてもうれしかったから宝物になったんじゃないですか。」
 といった発言 教師の応答 **答えた内容の文字言語化で効果の確認** **一つのことを詳しく話す効果**

「さんが、～ことを聞いてくれたので、詳しく話すことができました。」といった発言 **聞き手の質問がある場合とない場合の話した内容の比較** **質問の効果**

- ・ グループでスピーチする場合、質問したこと、それに答えた内容をスピーチ語に文字言語化させる。その際、音声言語が一過性であるということを克服するために、各グループにテープレコーダー等を用意しておき、内容を後で振り返ることができるようにしておく。

支援

一つの内容について質問されて答えたことを、一文で一枚のカードにさせる。そして、必要なカードを選び、その順序をいろいろ変えてみて、分かりやすい話し方（まとまりにおける内容の順序）について考えられるようにする。

おばあさんが、わたしにプレゼントしてくれたぬいぐるみです。

おばあさんは、わたしの気持ちをわかってくれるから大すきです。

おばあさんが、わたしのいえにきたときに、もらいました。

一目見て、かわいいのですぐに気に入りました。

× この内容はいらぬ後にする
 最初に話す
 ここでよい

【評価】方法：グループでのスピーチの様子、紹介原稿

S：宝物となった理由や背景について、全ての内容ごとに複数の文で説明し、しかも、その順序が整合している。

< 判断基準 S 例 >

この写真は、私のおばあさんです。おばあさんが久しぶりに家に来た時に、このぬいぐるみをもらいました。私は大好きなおばあさんがくれたぬいぐるみが一目で気に入りました。